

仙台西地域福祉サービスセンター

救護施設 太白荘

1 基本方針

生活保護法に基づき、利用者の日常生活の安心・安全を確保するとともに、日常生活の自立や地域生活移行等の実現を目指し、利用者主体のサービスを提供します。

さらに、自主運営の施設として責任をもった経営を基本とし、経営分析や必要な検証・改善を行い、業務の効率化・経営の安定化を図ります。

2 重点項目

- (1) 救護施設機能（循環型セーフティネット）の発揮
- (2) 高齢利用者支援の充実及び高齢化対策の実践

3 数値目標

内 容	目標等
(1) 救護施設	100人×365日×98%
(2) 一時入所	50人/月×12か月
(3) 地域生活移行者	5人
	延べ35,770人
	600人
	5人

4 施設運営

(1) 利用者への支援

内 容	目標等
イ 個別支援計画に基づく利用者のニーズに応じた支援	
(イ) 個別支援計画の策定	
a 利用者のニーズを調査の上個別支援計画の作成（新規入所は1か月後）	3月
b 利用者参画によるケア会議（モニタリング含む）の実施と見直し	3, 9月
c 利用者、家族へサービス提供の説明と同意の確認	//
d 精神的・身体的な状態等の変化による見直し	発生時
e 利用者管理システム（利用者基本台帳・各種記録類）の運用	
(ロ) 日常生活自立支援	通年
a 生活体験（掃除・調理・洗濯・小遣い銭管理）	
b 社会体験（銀行払出し、交通機関利用、役所手続、選挙、通院、個別外出）	
c 薬の自己管理へ繋げる支援（1日分から）	
d 健康管理（食事、おやつの自己管理、手洗いうがい等）	
e 理髪・美容院の利用の支援	
(ハ) 日中活動の充実	
a 利用者個々の適応に応じた3班活動と活動場所の整備	週4日
(a) 創作班（壁面装飾作成・年中行事用物品準備 等）	
(b) 健康・リハビリテーション班（健康・機能維持や情操活動 等）	
(c) 作業班（手工芸・園芸・清掃 等）	
(d) 活動場所の整備に関する調整	随時
・敷地内「作業棟」の設置による職住分離及び活動場所の確保へ向けた補助調整	
b 自主参加クラブ活動	
(a) クラブ活動（カラオケ、スポーツ、ゲーム、歩行 等）	週4日
(b) 定期ボランティアによるクラブ活動（お茶、演芸、コーラス等）	

内 容	目標等
c その他の活動 (a) 健康体操（オープンスペースにおける定時体操） (b) 調理実習	週5日 年間10回, 70人
【重】	
(二) 高齢利用者支援の充実及び高齢化対策の実践	
a 健康管理の充実	
(a) 日常的な健康観察とバイタルチェックの実施	毎日
(b) 嘱託医師並びに病院との連携	随時
b 高齢者支援の知識と技術の向上	
(a) 健康管理・介護技術・相談援助技術等の研修の実施	年3回
(b) 福祉機器・用具の活用推進	通年
c 日中活動への参加奨励	(再掲)
・3班活動・クラブ活動（含むボランティア活用）等	
d 個別外出（社会参加）	
・公用車を活用した送迎・付き添い支援	週1回
e 地域・施設等移行支援	(再掲)
(a) 介護保険施設等の情報提供・見学	年5回
(b) 要介護認定の申請	5人
(c) 高齢者施設への移行支援	〃
f 個室化による居室環境改善及び介護スペースの確保	
(a) 居室数2室増室（計54部屋）へむけた仙台市との補助協議・工事	随時
(b) 関係機関との調整	
(ホ) 利用者の主体性の尊重	
a 利用者の主体的な活動への支援	
(a) 自治会活動への支援（園長との懇談会・定例役員会等）	
(b) 各共有スペースの清掃・ゴミ出し	年6回
(c) 行事の企画（季節の行事等）及び打合せへの参画	毎日
(d) 給食委員会への参加	年4回
b 利用者の満足度・要望等の把握	〃
(a) 「利用者の声」及び「意見箱の設置」による改善と報告	4月開設, 毎月
(b) 利用者との話し合い	月1回
(c) 利用者アンケートの実施	11月
(d) 社会福祉士, 精神保健福祉士, 介護福祉士による相談支援	随時
(ヘ) 権利擁護の取組	
a 倫理綱領・具体的行動計画に基づく取組	
(a) 具体的行動計画の配布	4月, 全職員
(b) 朝のミーティング時に職員の取組等の発表による自己啓発	毎日, 平日
(c) 職員アンケートの実施	6月
b 身体拘束廃止ガイドラインに基づく生活支援の実践	
(a) 身体拘束廃止に関する定期的な自己診断	年4回
(b) ポスター掲示等による啓発	通年
c 虐待防止の取組	
(a) 体制整備, 職員・世話人, 早期発見チェックリストの実施	年2回
(b) 虐待防止委員会の開催	年4回
(c) 虐待防止強化月間の設置	
・朝のミーティングで職員の取組等の発表	10月

内 容	目標等
<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター掲示による啓発 (d) 虐待防止の関する研修 (ト) 地域生活移行支援 <ul style="list-style-type: none"> a 地域生活に向けての各種制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> (a) 障害者手帳の取得申請 (b) 障害支援区分の認定申請 (c) 障害年金等の取得申請 b 居宅生活訓練事業（施設機能強化推進費特別事業） <ul style="list-style-type: none"> (a) 年間支援プログラムの作成 (b) 日常生活訓練（日常的家事，食事，洗濯，清掃，金銭管理等） (c) 社会生活訓練（公共交通機関の利用，買物，対人関係の構築，通院，地域行事への参加，作品作り・販売等） (d) その他地域生活に必要な取組（グループホーム・作業所等の見学及び体験） c 地域生活に向けた自立生活訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・居宅生活訓練に準じたプログラムによる支援 ロ サービス評価 <ul style="list-style-type: none"> (イ) 施設サービス評価の実施 <ul style="list-style-type: none"> a 福祉サービス評価の自己評価の実施 b 評価結果による提供するサービスの見直しと質的向上 c 福祉サービス第三者評価に伴う自己評価の実施 d 福祉サービス評価第三者評価に伴う利用者との面談，訪問調査の実施 e 福祉サービス評価第三者評価報告の受理 (ロ) サービス向上委員会の開催 (ハ) ホームページによる情報公開 ハ 健康管理及び身体機能低下防止 <ul style="list-style-type: none"> (イ) 医療機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> a 定期健康診断 b 嘱託医による健康相談（内科医 3 回/月・精神科医 1 回/月） c 歯科医・訪問歯科による口腔ケア d 住民検診を利用した各種ガン検診 (ロ) 対応マニュアルの遵守による感染症対策 <ul style="list-style-type: none"> a 施設内の消毒，手洗いうがいの励行，手指消毒 b 感染症対策会議（危機管理委員会）開催 c 利用者・職員合同研修による感染症に対する意識の高揚 (ハ) 身体機能低下防止 <ul style="list-style-type: none"> a 朝の集いのラジオ体操，健康体操，歩けあるけクラブ等 b 3 班活動・自主参加クラブ活動 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 (再掲) 随時 対象者 2 人，通年 対象者 4 人・通年 年 1 回 6 月 年 1 回 6 月 8・9 月 2 月 年 4 回 毎月 年 2 回 2 医師 週 1 回 毎日 年 2 回 年 1 回 (再掲)

(2) 地域との交流，地域資源の活用

<ul style="list-style-type: none"> イ 地域資源を活用した地域交流 <ul style="list-style-type: none"> (イ) 地域・町内会活動への参加・協力（夏祭り・地区祭り・敬老会・新年会等） (ロ) 地域小学校・中学校行事への参加 (ハ) 他施設との交流（東山荘・ポッケの森等） (ニ) 近隣商店を利用した日用品やおやつ購入，理美容 ロ 施設内を活用した地域交流 <ul style="list-style-type: none"> (イ) 地域との懇談会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 年 4 回 各年 1 回 年 6 回 年 3 0 0 回，6 0 人 6 月
--	--

内 容	目標等
(ロ) ボランティアの受入れ (定期クラブ活動・演芸・理容・外出付き添い等)	10団体
(ハ) ボランティア感謝の集い等	10月
ハ 災害時対策	
(イ) 地域住民と連携した総合防災訓練・懇談会の実施 (町内会等) (再掲)	6月
(ロ) 救急救命 (AEDの操作訓練) の研修会	通年
(ハ) 応急手当協力事業所の登録 (AED設置等)	〃
(ニ) 被災地域住民の緊急一時受入れ	発生の都度
(ホ) 東山荘との災害時応援協定書に基づく情報交換	5月
(ヘ) 東北地区救護施設協議会との災害時応援の意見交換	〃

(3) 行事, 家族との交流等

イ 自治会の参画による年間を通した行事	
(イ) 日帰り旅行	6月
(ロ) 夏祭り (地域町内会主催への協力)	8月
(ハ) 盆供養	9月
(ニ) 敬老を祝う会 (敬老者紹介・地域町内会への参加)	10月
(ホ) ボランティアコンサート等	11月
(ヘ) 年忘れのつどい	12月
(ト) その他 季節に応じた行事食提供 (花見, 七夕, 芋煮, 正月, 節分など)	年10回
ロ 家族との交流	
(イ) ふるさと訪問 (盆・正月帰省等)	年2回
(ロ) 家族への広報誌の発送	年3回

(4) 関係機関との連携

イ 該当市町村の現況調査時に個別支援計画の説明と報告	各年1回
ロ 該当市町村との地域生活移行希望者の情報共有及び移行支援手続き	発生の都度
ハ 身元引受人の変更等に伴う調整	〃
ニ 利用者の入退院や様々な状況の変化等に伴う説明と報告 (含: 長期入院者)	〃
【重】	
ホ 救護施設機能 (循環型セーフティネット) の発揮 (新規入所者の受け入れと地域及び施設移行)	
(イ) 入所・一時入所受入れ	
a 福祉事務所, 精神科病院等と保護施設入所, 一時入所事業の情報交換 (空き状況・待機取扱いの説明など)	22 県機関及び市福祉 5 医療機関
b 入所相談者の見学受入れ	随時
c 入所相談者の一時・体験入所の受入れ	延べ月50人
d 緊急保護ケースへの対応	随時
(ロ) 施設等への移行	
a 個別支援計画に基づく施設等への移行対象者の検討	年2回
b 家族, 関係者との協議	年4回
c 移行計画策定及び移行	発生の都度

(5) 情報公開, 個人情報保護の取扱い

イ 情報公開規程の遵守	
・ ホームページの更新 (基本データ・生活の様子など)	4月・随時
ロ 個人情報保護の取組	毎月

内 容	目標等
(イ) 個人情報・特定個人情報保護規程に基づく個人情報保護の徹底	毎日
a PCハードや外部記憶媒体を通しての個人情報の流失防止	〃
b マイナンバーの管理の徹底	〃
(ロ) ボランティア・実習生への説明	受入れ都度
(ハ) 個人情報の持出し禁止の徹底	毎日
(ニ) プライバシーに配慮した支援	〃
ハ 公益通報者保護に関する規程の遵守	4月周知, 通年

(6) 苦情及びなんでも相談への対応

イ なんでも相談室責任者, 受付担当者, 第三者委員の明示と報告会の実施	年2回
ロ なんでも相談室(相談・苦情解決)を活用しての相談・苦情の解決	毎日
ハ 「ご意見カード」箱の活用による意見等の反映と回答書の掲示(掲示板)	通年
ニ 苦情解決結果による職場検討と苦情内容及び解決結果の公表	3月

(7) リスクマネジメントの推進

イ 事故防止の推進	
(イ) 事故防止への取組	
a 事故の分析及び再発防止策の検討(SHEL分析表活用)	発生都度
b 事故の検証結果や対策の全体会議の場での周知徹底	〃
c 事故予防のためのリスク管理委員会の開催と再発防止の実践	年4回
(ロ) ヒヤリ・ハット体験報告	
a ヒヤリ・ハットによる気付きの喚起(KYT:危険予知訓練)	年2回
b 朝のミーティングでヒヤリ・ハット体験報告による情報共有化	発生都度
(ハ) 事例検討会(処遇困難事例)	年4回
(ニ) 誤薬ゼロの取組として朝のミーティングで服薬時の注意喚起	毎日
(ホ) 所在不明者対策の取組(机上訓練・実践訓練) …再掲	四半期毎
(ヘ) 新型コロナウイルス・インフルエンザ・食中毒等の感染症予防対策の徹底	
a 感染症対策委員会の開催(再掲)	随時
b 手洗い・うがい, 手指消毒, マスクの着用, 三密回避の徹底	〃
c 予防接種の実施	11月
d 感染症マニュアルの見直し	4月・随時
e 感染予防備品の整備	随時
f 来訪者等面会の制限	〃
g 法人内施設における発生時の応援・受援体制の構築	4月・随時
h 発生時の職員配置シミュレーションの実施	〃
(ト) 各種マニュアルの点検・整備	4月及び必要都度
ロ 防災対策	
(イ) 緊急時行動計画の整備	4月
(ロ) 火元責任者(正・副)の明示	〃
(ハ) 防火設備点検及び施設生活安全点検の実施	毎月
(ニ) 消防関係機関との連携, 利用者の避難・救護訓練及び消火等の訓練の実施	年6回
(ホ) 安否確認システムの訓練	年3回
(ヘ) 災害時に備えた備蓄の確保(飲料水, レトルト, 缶詰, 保存パン他)	非常食7日分
(ト) 土砂災害対策避難訓練の実施(土砂災害指定地区)	年3回
(チ) Jアラート対応に関する意識付け	通年
ハ 防犯に係る安全対策	

内 容	目標等
(イ) 防犯設備の整備・点検，夜間等における施錠管理	通年
(ロ) 職員間の連絡体制の構築及び防犯研修・勉強会等の実施	年1回
(ハ) 関係機関や地域住民等多様な関係者との協力・連携体制の強化	通年
(ニ) 防犯（不審者対応）避難訓練の実施	年3回
ニ 事業継続マネジメント（BCM）の推進	災害時等
ホ ハラスメント防止の取組	
(イ) ハラスメント防止規程の周知徹底	通年
(ロ) ハラスメントの相談・受付窓口等の職員への周知	4月
(ハ) ハラスメント防止にかかる研修の実施	年4回
(ニ) 啓発ポスターの掲示	5月
ヘ 公用車始業前安全点検の徹底と適正な整備管理	
(イ) ブレーキランプ等の運行前点検の実施	随時
(ロ) 定期点検・整備の実施	半年毎
ト 公用車運行時の交通安全の徹底	
(イ) 法定速度及び交通ルールの遵守	通年
(ロ) 乗車全員のシートベルト着用の徹底	〃
(ハ) 利用者送迎等運行ルート上の危険箇所点検	四半期毎
チ 職員の健康管理	
(イ) 健康診断の実施（健康診断・夜間従事者検診・腰椎検査・腸内細菌検査等）	計画に基づく
(ロ) 産業医による職員の健康相談・職場巡視	年2回
(ハ) 安全衛生委員会の開催	月1回
(ニ) メンタル研修の開催	年1回
(ホ) ストレスチェックの実施	年1回，4～11月
(ヘ) 上司による職員との定期面談の実施	四半期毎

(8) 人材育成及び研修計画

イ 質の高いサービスを提供するための人材育成	
(イ) 質の高いサービスを提供するための基本的知識の習得	
a 障害（知的・精神）の基本的理解を深める研修	年2回
b 医療的ケア研修	年2回
c 介護技術基礎研修	〃
d 虐待防止等研修	
(a) 障害者虐待防止研修	2人
(b) 障害者虐待防止リーダー研修	1人（係長・主査）
(c) 権利擁護研修（施設内研修）	4月（新規採用者）
(ロ) 資格取得の推奨	
a 国家資格等の取得に関する助成制度の活用	通年
b 介護技術等のスキルアップ研修への助成制度の活用	〃
(ハ) 法人内各施設で実施される各種研修会への相互参加の推進	随時
(ニ) 職場研修	
a OJT研修による人材育成	
(a) 新規・転入職員，臨時職員への研修	採用時，転入時
(b) OJT担当職員による介護・支援技術向上のための研修	採用後2か月・随時
(c) 個人研修計画・評価シートによる評価とフォローアップ	年2回
(d) 新任職員指導・育成シートによる評価とフォローアップ	年3回
b OFF-JT研修	

内 容	目標等
(a) サービス管理責任者研修 (地域生活)	1 人
(b) 安全運転管理者研修	年 1 回
(c) 防火管理者研修	年 2 回
(d) 外部講師による研修会 ・作業療法士によるリハビリ研修 ・感染症予防 (食中毒・口腔衛生他) ・救急救命研修 (AED操作・心臓マッサージ他)	年 1 回
(e) 同種施設並びに高齢者施設の見学・実習等	
(へ) 法人主催研修	計画に基づく受講
a 階層別研修	3 回, 10 人
b 職能別研修	6 回, 8 人
c 選択研修	5 回, 10 人
(ト) 施設外研修会への参加 (派遣研修) ・SST研修ほか	
(チ) 自己啓発研修	
a 資格取得の奨励 (社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士等)	随時
b 専門研修等への参加奨励	随時
ロ 福祉QC手法を用いた課題解決への取組	随時
ハ 実習生の受入れ	1 テーマ
(イ) 社会福祉援助技術現場実習の受入れ	
(ロ) 介護福祉士養成実習の受入れ	2 回, 2 人
(ハ) 介護等体験実習の受入れ	随時
ニ 専門的な外部研修	3 回, 3 人
(イ) 喀痰吸引等基礎研修及び実地研修	
(ロ) 災害派遣福祉チーム基礎研修・スキルアップ研修 (宮城県災害福祉広域支援ネットワーク協議会)	1 人 随時

(9) 施設の維持管理

イ 消防設備保守点検業務	自主月 1 回, 業者年 2 回
ロ 自家用電気工作物保守点検業務	隔月
ハ エレベーター保守点検業務	月 1 回
ニ 空調機保守点検業務	年 2 回
ホ 居住棟温水ボイラー保守点検業務	点検年 2 回
へ 施設維持管理業務	毎日
ト 定期清掃業務 (ワックス・棟内等)	年 2 回, 通年
チ 防犯設備保守点検業務	年 1 回
リ 自動ドア保守点検業務	年 3 回

(10) 環境配慮の推進

イ 「わが社の e 行動宣言」に基づく環境配慮の推進	通年
ロ エコマークや環境ラベルのある商品等環境に配慮した物品の購入	随時
ハ 照明の減灯等節電対策の実施 (職員不在時の消灯・昼食時の消灯)	随時
ニ 使用済み用紙の裏面活用等省資源対策の実施	随時
ホ 廃棄物の分別の徹底と食品の残滓のコンポストによる堆肥づくり	随時
へ 施設内外の清掃等環境美化の推進	施設内水曜日ほか

(11) 安定的な経営

内 容	目標等
イ 建物・設備の適切な管理	通年
ロ 適切で確実な各種請求事務の実施	〃
ハ 予算執行状況等の情報提供（紙ベース）による経営認識の共有化	年4回
ニ 他の救護施設との経営情報等の交換	年2回
ホ 事業所全体での効率的な電気・水道・都市ガス使用の取組 （イ）空調開始温度（冷房設定温度）を28℃に設定 （ロ）都市ガスの使用量削減 （ハ）デマンドによる節電の実施	通年
ヘ 事務費加算額の安定確保	
（イ）福祉事務所等関係機関に対する利用PR（空室情報等）	通年
（ロ）ホームページによる利用PR（空室情報等）	〃

(12) 地域福祉推進計画に基づいた取組み

イ 地域住民に対する「施設・事業所の機能」の提供・活用	(再掲)
（イ）ボランティア団体への活動場所として施設、事業所を提供・活用	
a 茶道, 演芸, コーラス等	月5回
b 理美容	年6回
（ロ）地域との交流	
a 地域・町内会活動への参加（夏祭り・敬老会等各種イベント）	年4回
b 地域小学校, 中学校行事への参加	各年2回
c 他施設との交流（東山荘・ポッケの森等）	年6回
d 近隣商店を利用した日用品等の購入や理美容の利用	年300回, 60人
（ハ）福祉教育等の実施	
・各種実習・施設体験の受入れ	
（ニ）災害時対策	
a 地域住民と連携した総合防災訓練・懇談会の実施（町内会等）	6月
b 救急救命（AEDの操作訓練）の研修会	通年
c 応急手当協力事業所の登録（AED設置等）	〃
d 被災住民の緊急一時受入れ	発生の都度
e 東北地区救護施設協議会との災害時応援の意見交換	5月
（ホ）災害・感染症等発生時における他法人等への職員派遣	
a 災害・感染症発生時における職員派遣体制の整備	4月・随時
b 各種協定及び関係機関等からの派遣要請に基づく職員派遣	随時
c 災害福祉広域支援ネットワーク協議会チーム員の派遣	〃
ロ 救護施設機能（循環型セーフティネット）の発揮	(再掲)